

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第146回(平成27年度第3回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成27年10月～12月・報告

平成28年 1月～ 3月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較・・・図1	
県内産業別の業況D I 推移を比較・・・図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・図3
売上額(加工高)の状況	・・・図4
採算(経常利益)の状況	・・・図5
設備投資の状況	・・・図6
経営上の問題点の状況	・・・図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・図9
採算(経常利益)の状況	・・・図10
設備投資の状況	・・・図11
経営上の問題点の状況	・・・図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・図13
売上額の状況	・・・図14
採算(経常利益)の状況	・・・図15
設備投資の状況	・・・図16
経営上の問題点の状況	・・・図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・図18
売上額(収入高)の状況	・・・図19
採算(経常利益)の状況	・・・図20
設備投資の状況	・・・図21
経営上の問題点の状況	・・・図22
6. 調査対象事業所の内容	16

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がり示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況等や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

矢板市・下野市・うつのみや市・西方・芳賀町
壬生町・野木町・氏家・那珂川町・西那須野

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成27年11月15日

○調査対象期間

平成27年10月～12月期の実績及び、平成28年1月～3月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

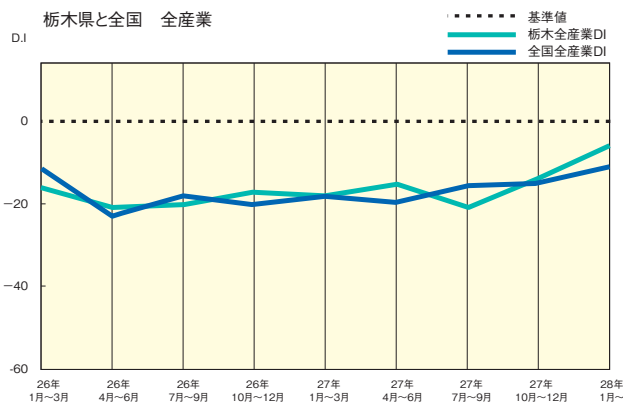
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.0
建 設 業	21	14.0
小 売 業	40	26.7
サ ー ビ ス 業	59	39.3
合 計	150	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「県内・全国とも回復傾向、来期も更なる回復を予想」 (前期比) 図 1



今期の業況を全国で見ると、D I 値は+0.4[°] イト (-15.5[°] イト→-15.1[°] イト) と小幅ながらマイナス幅が縮小し、来期の見通しも、+5.2[°] イトの改善を予想している。

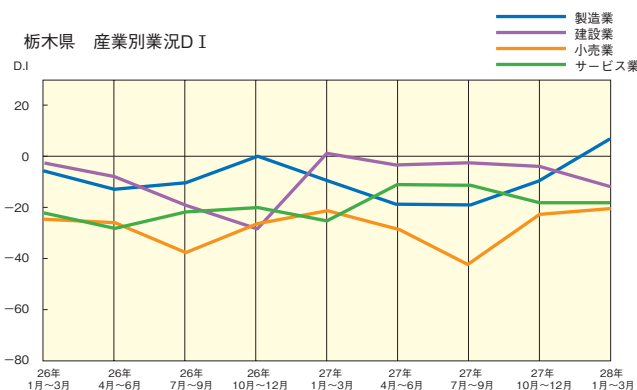
栃木県内の業況D I も、+6.4[°] イト (-20.5[°] イト→-14.1[°] イト) と回復し、来期予想は+8.5[°] イト (-14.1[°] イト→-5.6[°] イト) と更なる回復を予想している。

H26年4~6月期以降、全国・県内とも僅かながら回復基調が続き、今回は、消費税率引き上げ以降最もD I 値のマイナス幅が縮小し、来期も更なる回復を予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれの調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「製造業・小売業が大幅な回復、来期も上向きの予想」 (前期比) 図 2



前期の予想通り「製造業」が+12.1[°] イト (-21.7[°] イト→-9.5[°] イト)、「小売業」が+18.7[°] イト (-42.6[°] イト→-23.9[°] イト) と大幅にマイナス幅が縮小し、来期も「製造業」が+16.9[°] イト、「小売業」が+4.3[°] イトの回復予想となっている。

「建設業」は今期、-1.7[°] イトの悪化となり、来期も-6.3[°] イトの悪化予想である。

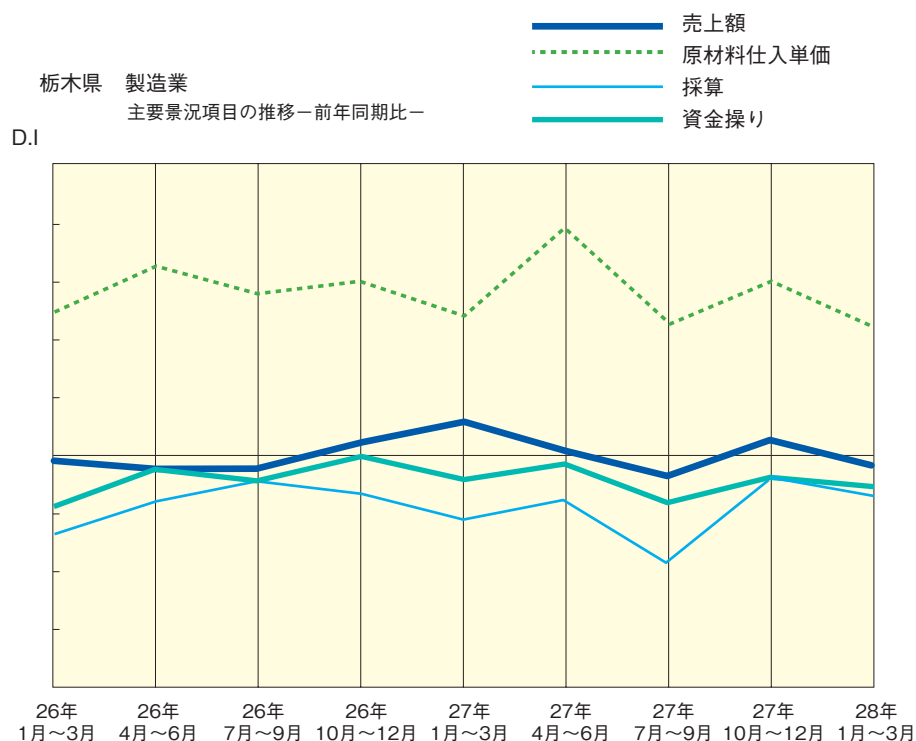
「サービス業」は今期・来期とも小幅な動きはあるものの、横ばいとなっている。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額・採算・資金繰りが改善も、来期は悪化を予想」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



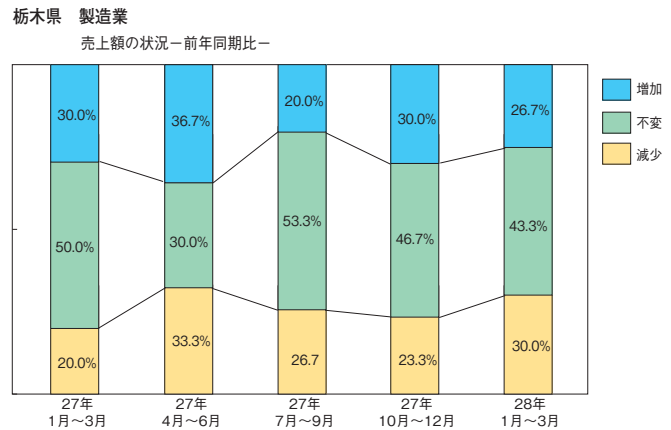
「採算」の大幅な改善（+33.3[°] イト）を筆頭に、売上額（+13.4[°] イト）、資金繰り（+7.2[°] イト）とも改善となっているが、来期は3項目とも悪化を予想している。

「原材料仕入単価」は、+16.4[°] イト（42.9[°] イト→59.3[°] イト）の上昇となっているが、来期は-14.9[°] イトの下落を予想しており、不安定な状態が続いている。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳は、増加企業が30.0%、減少企業が23.3%であった増加企業が10.0%増え、減少企業が3.4%減ったため、D I 値は+6.7ポイントとなった。

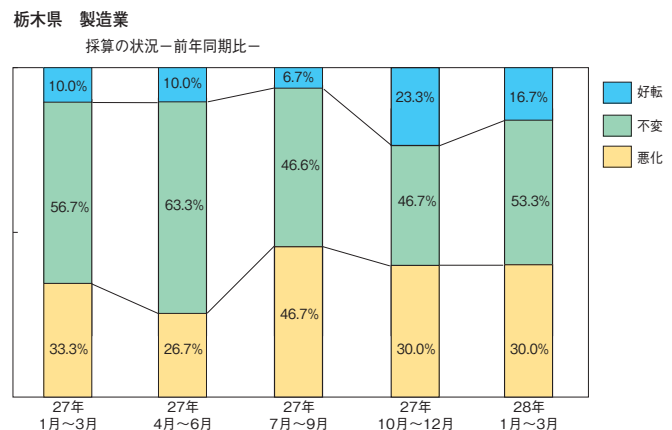


来期の見通しは、売上増加と予想する企業が26.7%に減り、減少を予想する企業が30.0%に増加するため、D I 値は-3.3ポイントと悪化を予想している。

－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が大幅に増加(6.7%→23.3%)し、悪化企業が減少(46.7%→30.0%)したため、D I 値は-6.7ポイントで、前期(-40.0ポイント)より大幅な改善となった。



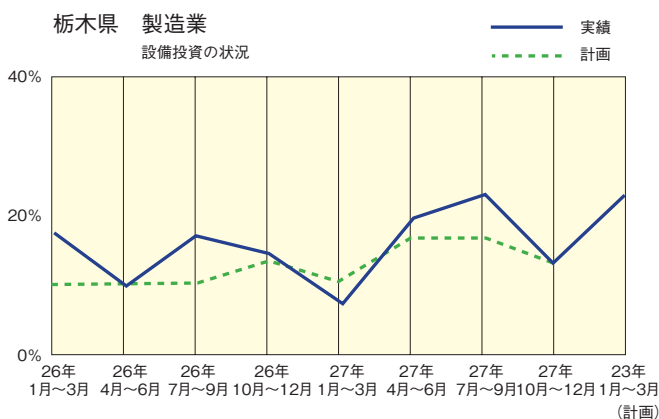
しかし、来期の見通しは、悪化を予想する企業が横ばいなものの、好転を予想する企業が減少し、D I 値は-13.3ポイントと悪化を予想している。

—設備投資の状況—

設備投資の状況 図6

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合が13.3%に対し、実績は13.3%と計画通りの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期より10.0%増の23.3%となっており、強い設備投資意欲がみられる。

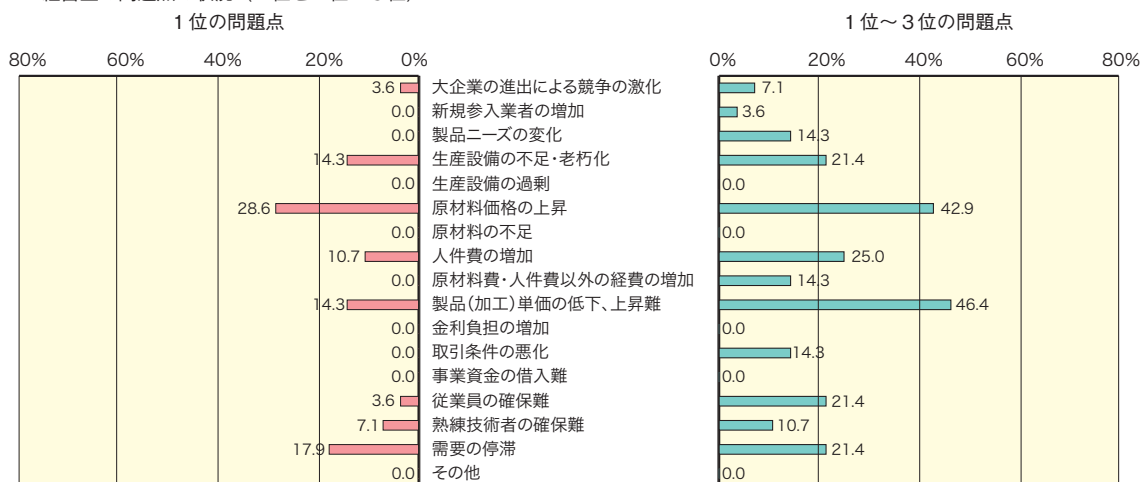


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図7

栃木県 製造業

経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



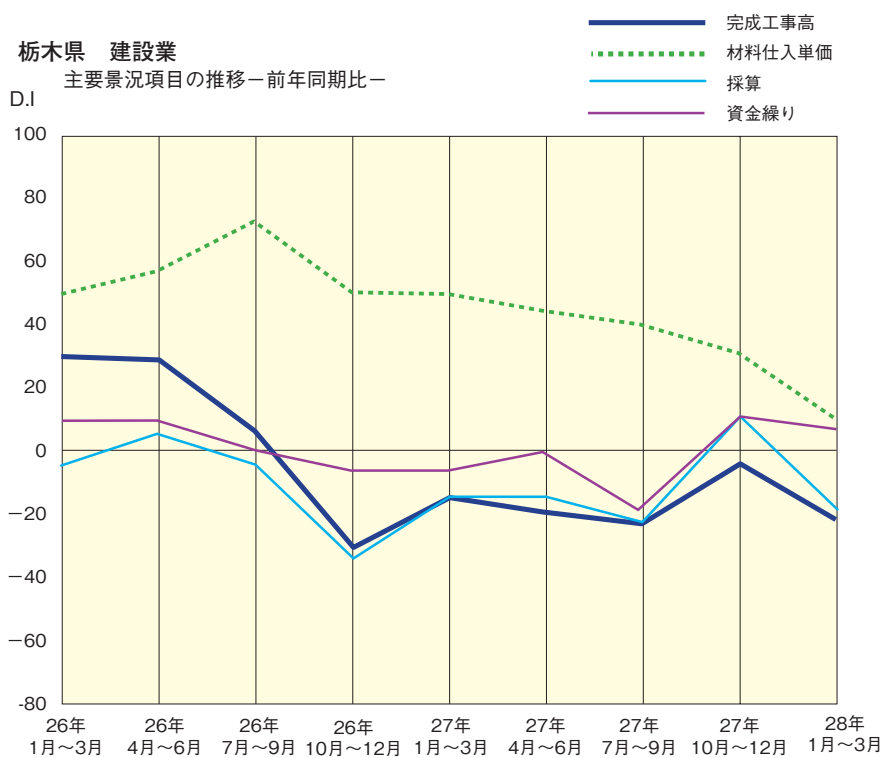
1位の問題点を見ると、「原材料価格の上昇」(28.6%)が最も多く、次いで「需要の停滞」(17.9%)、「生産設備の不足・老朽化」(14.3%)、「製品(加工)単価の低下、上昇難」(14.3%)となっている。1位~3位の問題点では、前述の他、「人件費の増加」、「従業員の確保難」も大きく伸びており、課題が多いことを示した。

3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「各項目で回復するも、来期は再び悪化を予想」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「採算」は、前期比+33.5ポイント（-23.9ポイント→9.6ポイント）と大幅に回復し、6期ぶりのプラス水準となった。「売上額（完成工事額）」（+19.1ポイント）「資金繰り」（+28.6ポイント）についても大幅な回復となった。

しかし、来期の見通しは、「売上額（完成工事額）」「採算」「資金繰り」の3項目で悪化すると予想している。特に「採算」は、-28.7ポイント（9.6ポイント→-19.1ポイント）と大幅な悪化となっている。

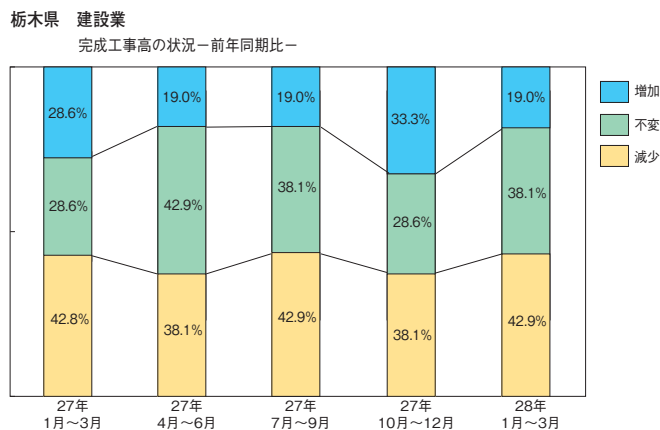
「材料仕入単価」については前期比-9.5ポイントの低下となり、来期も引き続き低下を予想している。

－売上額(完成工事高)－

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、増加企業が14.3% (19.0%→33.3%) 増え、減少企業が38.1%と微減したため、D I 値は-4.8ポイントと、前期に比べ、19.1ポイント改善した。

来期の見通しでは、増加を予想する企業が減少(33.3%→19.0%) し、不変とする企業が増加(28.6%→38.1%) するため、D I 値は悪化(-4.8ポイント→-23.9ポイント) を予想している。

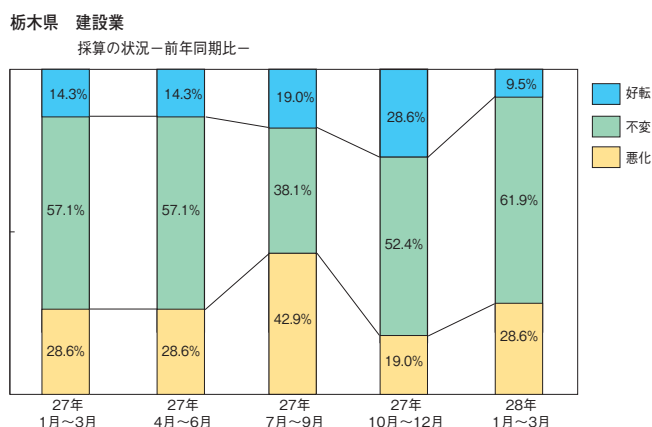


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期は、好転企業が増加(19.0%→28.6%) し、悪化企業が大幅に減少(42.9%→19.0%) したため、D I 値は9.6ポイントと大幅に改善しプラス水準となった。

来期の見通しは、好転企業が再び減少(28.6%→9.5%) し、悪化企業が増加(19.0%→28.6%) するため、D I 値は悪化(-19.1ポイント) を予想している。

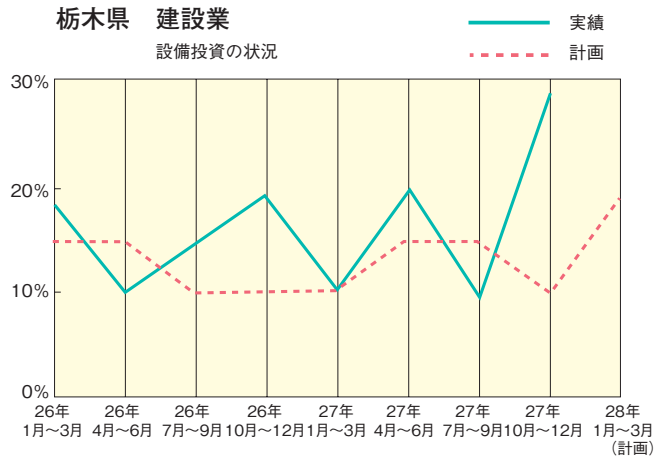


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が9.5%に対して、実績は28.6%と計画を大幅に上回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期計画より増加し19.0%となっている。

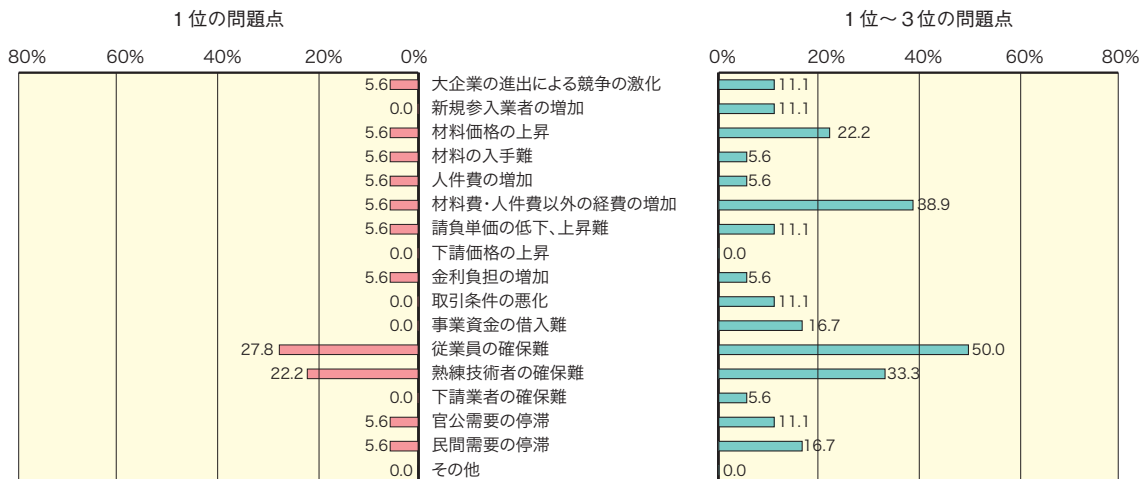


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



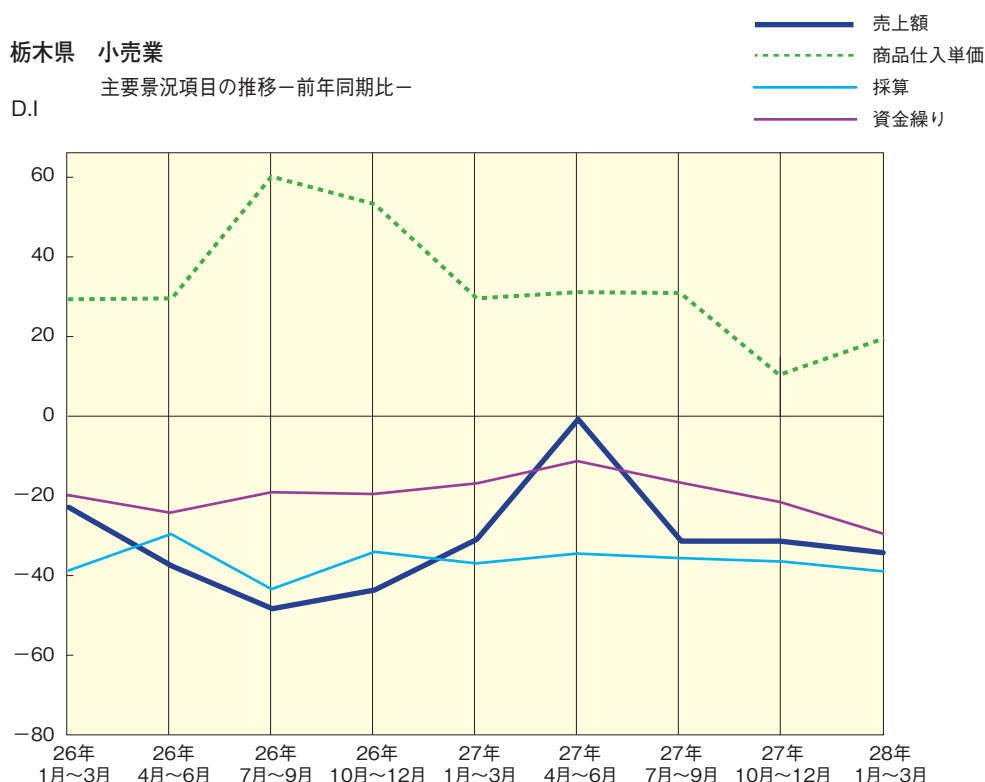
1位の問題点では、「従業員の確保難」(27.8%)が挙げられており、次いで「熟練技術者の確保難」(22.2%)が挙げられており、人材不足の問題が窺える。前回1位であった「請負単価の低下、上昇難」は大幅に減少した。1位～3位の問題点では、上記2つの問題に加え「材料費・人件費以外の経費の増加」(38.9%)が高い値で挙げられている。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「資金繰りが悪化傾向、来期も悪化を予想」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「資金繰り」が -7.5 ポイント（ -15.0 ポイント \rightarrow -22.5 ポイント）と2期連続の悪化となった。来期も -7.5 ポイントの悪化となり、過去2年間に於いて最もマイナス幅が広がると予想している。

「売上額」（ ± 0.0 ポイント）、「採算」（ $+0.9$ ポイント）は前期とほぼ変わらず横ばいとなった。

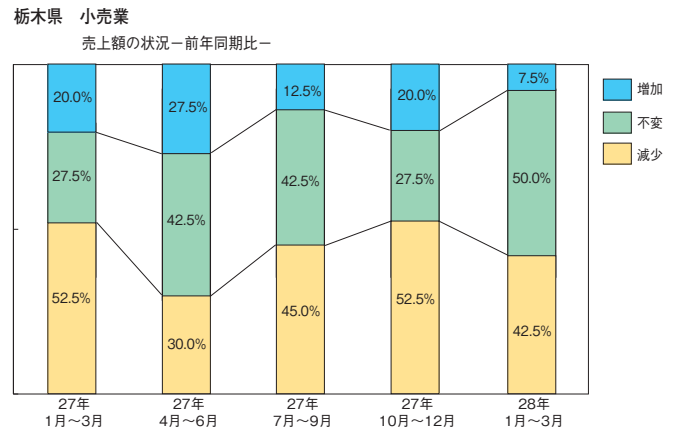
「商品仕入単価」は、前期比 -22.5 ポイント（ 32.5 ポイント \rightarrow 10.0 ポイント）と大幅に低下し、過去2年間に於いて最も低い水準となった。来期は再び上昇を予想しているが、依然として低い水準を維持する予定である。

来期の見通しをみると、全指標とも小幅ながら悪化を予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比） 図14

今期D I 値の内訳を見ると、売上額が増加したとする企業が20.0%と前期に比べ7.5%増えたものの、減少企業も52.5%と増加したためD I 値は前期と変わらず-32.5ポイントとなった。

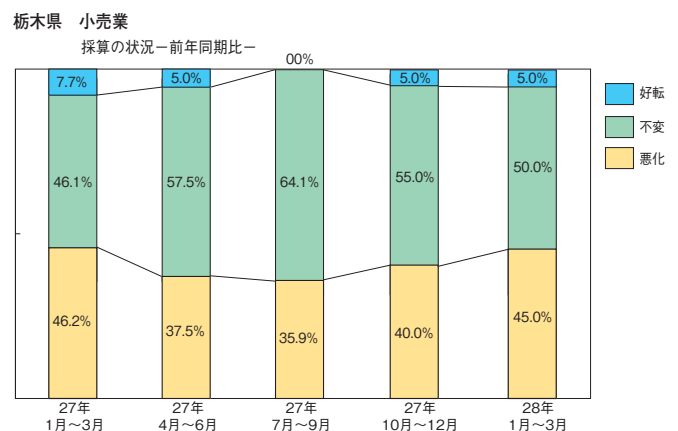


来期の見通しは、売上増加を予想する企業が7.5%に減少するも、売上額が不変とした企業が50.0%と大幅に増加するため、D I 値は-35.0ポイントと-2.5ポイントの悪化となる予想である。

—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況（前年同期比） 図15

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が5.0%、悪化企業が40.0%、で、D I 値は-35.0ポイントと、前期（-35.9ポイント）に比べ0.9ポイント改善となったが、依然として厳しい状況にある。



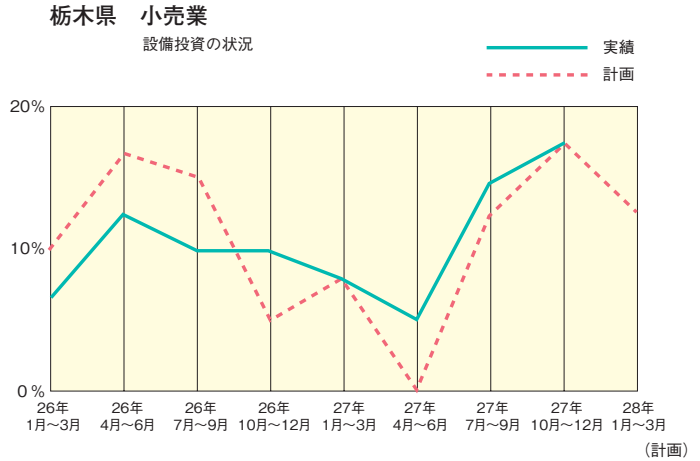
来期の見通しは、好転企業が5.0%と同値ではあるものの、悪化を予想する企業がさらに増加するため、D I 値は今期より悪化し-40.0ポイントと予想している。

—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合17.5%に対し、実施割合は17.5%と、計画通りの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期より減少し、12.5%である。

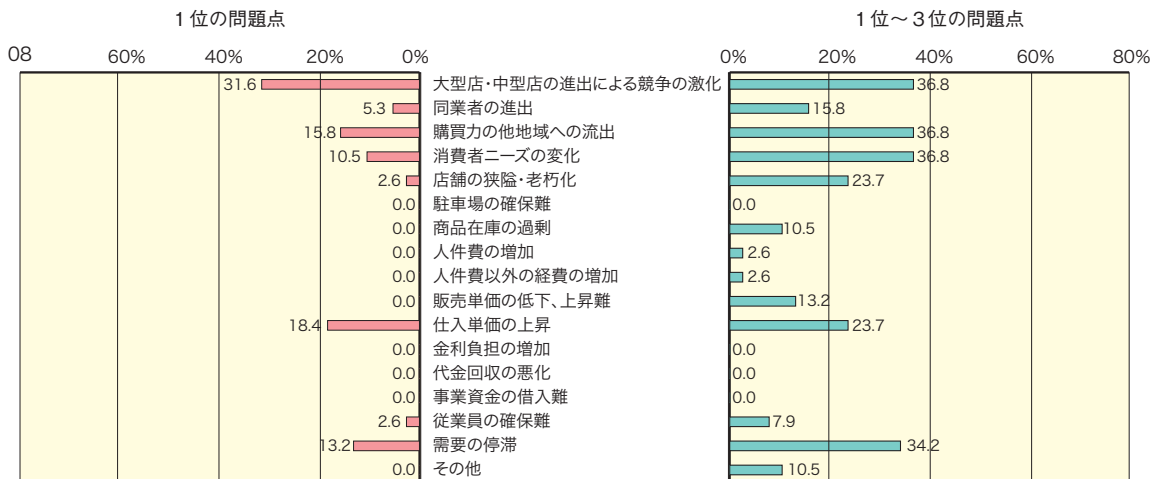


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



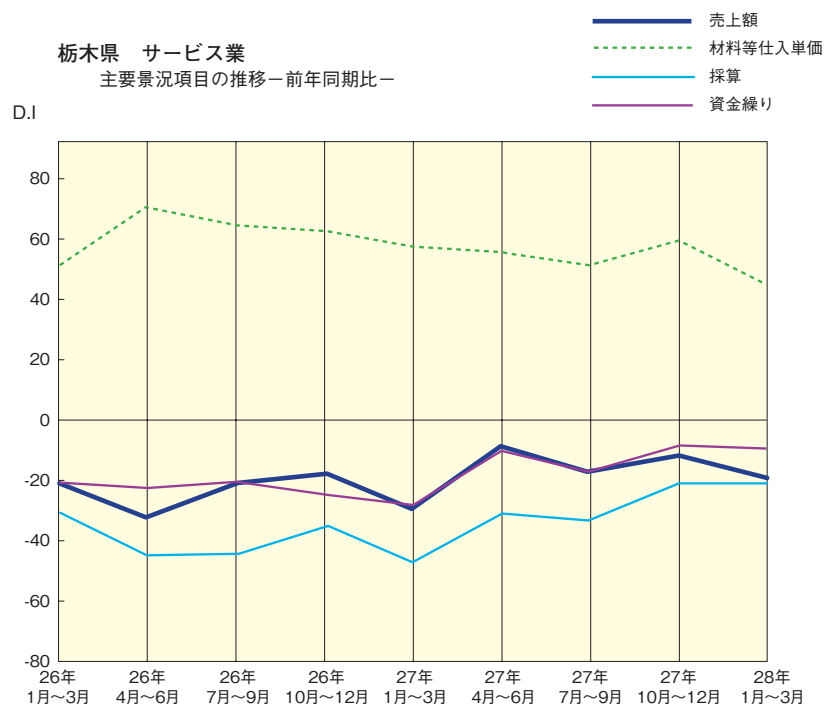
1位の問題点では、「大型店・中型店の進出による競争の激化」(31.6%)、「仕入単価の上昇」(18.4%)と前期と同順で挙げられた。1位~3位の問題点では、「大型店・中型店の進出による競争の激化」、「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」が同値(36.8%)で挙げられている。

5. サービス業の景況

—主要景況項目の推移—

「採算・資金繰りが回復、来期は横ばいを予想」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



「採算」のD I 値は前期と比べ+10.9[°] イト（-31.6[°] イト→-20.7[°] イト）、「資金繰り」が+10.5[°] イト（-19.0[°] イト→-8.5[°] イト）と回復した。「売上額」も+5.4[°] イト（-17.3[°] イト→-11.9[°] イト）と僅かながら回復を示した。

「材料等仕入単価」は+5.9[°] イト（51.7[°] イト→57.6[°] イト）上昇となり、全体としては低下傾向にあるものの、高水準で推移している。

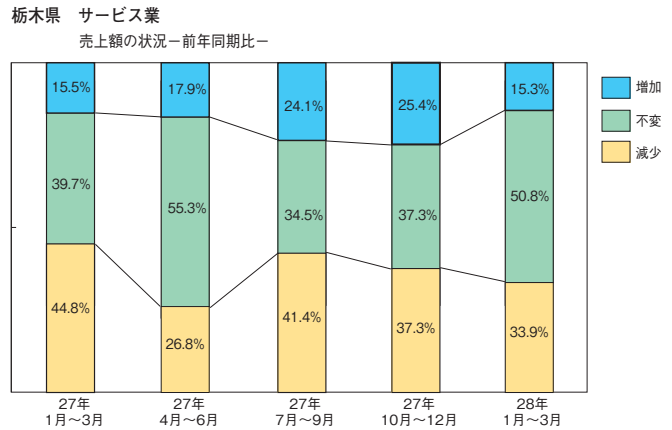
来期は、「売上額」のD I 値が-6.7[°] イト悪化（-11.9[°] イト→-18.6[°] イト）、「資金繰り」についても-1.7[°] イトの悪化（-8.5[°] イト→-10.2[°] イト）する見込みである。「採算」については横ばいと予想している。

「材料等仕入単価」は、-13.5[°] イトとなり低下傾向を維持すると予想している。

－売上額(収入高)－

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期売上額のD I 値の内訳を見ると、増加企業が25.4%と前期に比べ微増し、減少企業が37.3%に減ったため、D I 値は-17.3ポイントから-11.9ポイントとマイナス幅が縮小した。

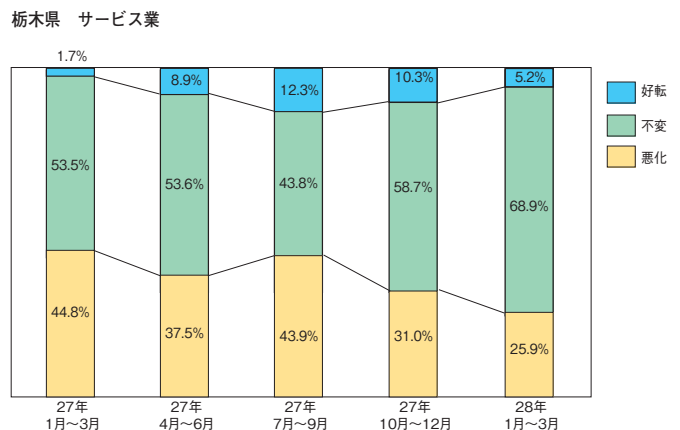


来期の見通しについては、増加を予想する企業が15.3%と減少し、不変を予想する企業が増加するため、D I 値は-18.6ポイントと再びマイナス幅が拡大すると予想している。

－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が10.3%と微減したものの、不変企業が58.7%と増加したため、D I 値は-20.7ポイントと前期に比べ、改善した。



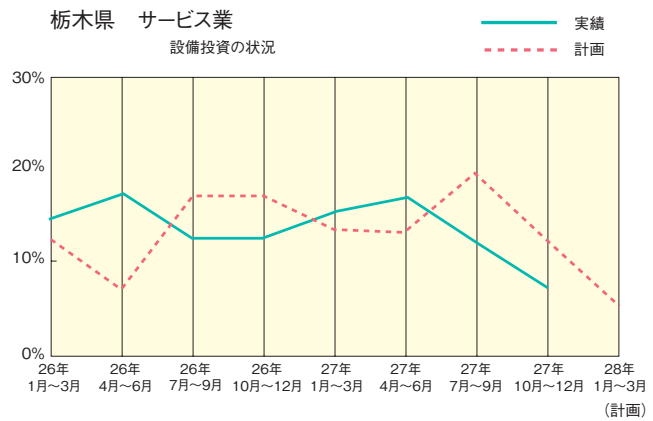
来期の見通しは、好転を予想する企業が5.2%とさらに減少する予想であるが、不変を予想する企業が58.7%から68.9%にさらに増加するため、D I 値は-20.7ポイントとなり今期と変わらないと予想している。

—設備投資の状況—

設備投資の状況 図21

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合11.9%に対し、実施企業は6.8%となり、計画を下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は5.1%で、設備投資意欲が低い傾向となっている。

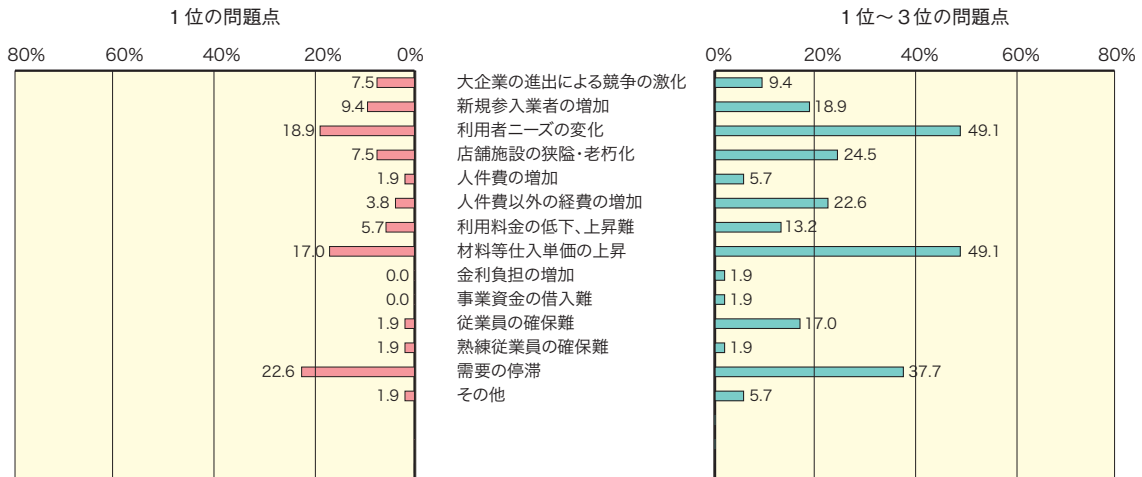


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図22

栃木県 サービス業

経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



1位の問題点では、「需要の停滞」が22.6%でトップに挙げられ、次いで「利用者ニーズの変化」が18.9%、3期連続でトップに挙げられていた「材料等仕入単価の上昇」が17.0%となり、前期と順位は変わったものの同じ問題が挙げられている。1位~3位の問題点でも「利用者ニーズの変化」と「材料等仕入単価の上昇」が49.1%と同率で挙げられ、「需要の停滞」が37.7%と1位の問題点と同じ問題点が挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業 種	事業所数	割合%
食料品製造業	6	20.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	0	0.0
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.3
木材・木製品製造業	0	0.0
家具・装備品製造業	1	3.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	2	6.7
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	1	3.3
窯業・土石製品製造業	1	3.3
金属製品製造業	3	10.0
一般機械器具製造業	1	3.3
電気機械器具製造業	1	3.3
輸送用機械器具製造業	4	13.3
精密機械器具製造業	1	3.3
その他の製造業	7	23.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	13	43.3
3人以上～5人以下	7	23.3
6人以上～10人以下	5	16.7
11人以上～20人以下	3	10.0
21人以上～50人以下	1	3.3
51人以上～100人以下	0	0.0
101人以上	1	3.3

〈建設業〉

業種別内訳 21事業所

業 種	事業所数	割合%
総合工事業	11	52.4
職別工事業	7	33.3
設備工事業	3	14.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	9	42.9
3人以上～5人以下	6	28.6
6人以上～10人以下	4	19.0
11人以上～20人以下	1	4.8
21人以上～50人以下	1	4.8
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 40事業所

業 種	事業所数	割合%
各種商品小売業	1	2.5
織物・衣服・身の回り品小売業	5	12.5
飲食料品小売業	14	35.0
自動車・自転車小売業	3	7.5
家具・建具・じゅう器小売業	3	7.5
その他小売業	14	35.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	82.5
3人以上～5人以下	7	17.5
6人以上～10人以下	0	0.0
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 59事業所

業 種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	23	39.0
宿泊業	2	3.4
運輸業	2	3.4
自動車整備業	5	8.5
洗濯・理美容業	15	25.4
その他サービス業	12	20.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	44	74.6
3人以上～5人以下	13	22.0
6人以上～10人以下	2	3.4
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

第 1 4 6 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 7 年 1 0 月 ~ 1 2 月 期 報 告
平成 2 8 年 1 月 ~ 3 月 期 予 想

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 顔 晴 る 企 業 応 援 課
発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号
TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875
印 刷 所 : (株)松 井 ビ・テ・オ・印 刷
